

新型 アウトランダーPHEV 安全性能2021最高評価 ファイブスター賞を受賞



三菱自動車工業株式会社は、昨年12月に発売を開始した『アウトランダー』のプラグインハイブリッドEV (PHEV)モデルが、自動車アセスメント(JNCAP)「自動車安全性能2021」において、最高評価にあたる「ファイブスター賞」を受賞したことを発表しました。

三菱自動車は、交通事故のみならず自動車に関わる全ての「事故ゼロのクルマ社会の実現」を製品開発における安全理念のビジョンとし、今後も事故低減技術の開発・実用化を進めていきます。

お客様が安全性の高い自動車を選択しやすい環境を整備するとともに、自動車メーカーに対してより安全な製品の開発を促すため、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)は、毎年、販売台数の多い車両を中心に、自動車の安全性能に関する様々な評価試験を行い、結果を公表しています。そして「衝突安全性能評価」と「予防安全性能評価」において、最高ランクの<Aランク>を獲得し、かつ「事故自動緊急通報装置」を搭載した車両にのみ与えられるのが最高評価「ファイブスター賞」です。

■衝突安全性能

衝突安全強化ボディ(RISE)では、三菱自動車初となる超高張力鋼を客室部分に採用。高エネルギーを吸収するフロント構造と変形の少ない高耐力キャビン構造を組み合わせることで、乗員の安全性と軽量化を両立しました。7つのSRSエアバッグを全車に標準装備しました。

■予防安全性能

前方の車両や歩行者、自転車運転者(昼間のみ)を検知し、ブレーキ制御を自動的に作動させて衝突回避、または衝突被害の軽減をアシストする「衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]」や、壁などの障害物に加えて、前進時は人や車両も検知する「踏み間違い衝突防止アシスト[EAPM]」などを含む9つの先進運転支援機能をまとめた「e-Assist」を全車に標準装備しました。

対向車や先行車の有無を検知し、ヘッドライト照射範囲や明るさを自動的に切り替えることで優れた夜間視認性を実現する「アダプティブLEDヘッドライト[ALH]」を全車に標準装備しました。

新型『アウトランダー』PHEVモデルは、三菱自動車の電動化技術と四輪制御技術の粋を集め、新世代のプラットフォームや先進技術を活用したフラッグシップモデルです。「威風堂堂」をコンセプトに、ボディやシャシー、パワートレインなどすべてを刷新し、全方位で大幅に進化させています。

青森三菱自動車販売 株式会社

<https://www.aomori-mitsubishi-motor-sales.com/>

